



社協だより

第157号

2013.3.1

点字・墨字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市大字山部616-145
TEL0949(23)2551 FAX0949(23)2552
e-mail:nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP:http://www.nogatashakyo.org/



今こそ考える。
支え合いのあり方。

九州北部を中心に発生した集中豪雨(平成24年7月14日)の影響で、冠水した下境小学校付近での写真。

- 支え合いマップづくり地域の募集…………… 2
- 地域の輪(腎友会) 情報ひろ場 (障問連講演会、るーぷる一時移転、直方ボランティアのつどい)…………… 3
- 図書室(幸福な食堂車)…………… 3
- お知らせ(おもちゃ図書館のおがた、登録ヘルパー募集)ご寄付…………… 4

もくじ

kantera

カンテラ



「出会い・つながり」

「今度は、お父さんも一緒においでよ」と寿司屋のご主人は、息子に言いました。

夫が亡くなって3年目、神戸市で障害児者全国交流会に参加した帰りのことです。

16年程前、夫と息子は、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた神戸市長田区へボランティアに行きました。その折、二人は再開したばかりの寿司屋に入っていました。

今回、私たちは、偶然にも同じ店に入ったのです。

息子はカウンターの奥から4番目に座りました。ご主人は「あっ、僕、久しぶり」「同じ席や」「お父さんは？今日はお母さんとやね」と懐かしそうに話しかけました。

もう二度と会わないかもしれない人となりがり、そしてご主人は障害のある息子を覚え、「またおいで」とつながろうとしてくれました。

甚大な震災が、お互いに見遇いしきれない人となり、つながっていくのでしようね。

(H・T)



この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。





つくってみませんか？ あなたの地域の 「支え合いマップ」

○皆さんの地域でのこのよ
うな困りごとはありませ
んか？

・地域の福祉課題を考えた
いが、何から始めてよい
かわからない。
・福祉課題について話し合
う場が必要だと感じてい
る。

・高齢化が進み、地域の課
題になっている。

・日常的に見守りが必要な
世帯が増えている。

・引きこもっていて心配な
世帯がある。

・ゴミ屋敷の世帯がある。
・できるだけ住み慣れたま
ちで暮らしたい。

○支え合いマップを地域でつくっ
てみませんか？

支え合いマップって何？

支え合いマップとは、約50世帯
ごとに要援護者(高齢者・障害者・
気になる世帯など)と地域住民が
どのように触れ合い、支え合っ
ているかを住宅地図に載せること
で、ご近所の福祉課題を発見し、
解決に向けた取り組みを考え、行
動に移すことにより、自分たちが



住む地域をより住みやすくするた
めの活動です。

支え合いマップの良い点は？

地域の状況が一目で分かり、今
まで見えなかった課題が明らか
になり、解決の取り組みを考える
きっかけになります。

○東和苑自治区での取り組み事例

東和苑自治区では支え合いマッ
プづくりに取り組み、高齢者や障
害者の見守りをはじめ、災害対策な
ど、様々な課題が見えてきました。

参加者の声

・支え合いマップをつ
くること、地域で
困っている人の課題や
情報共有をすることができた。
・繰り返し実施していくことが大
切ではないか。
・自分たちでもできそうだ。



○つくってみたく
思われた方は？

直方市社会福祉協議会までお問
い合わせください。

TEL: 0949(23)2551

地域の輪

地域に根ざした独自の
福祉活動をご紹介します。

すべての会員が

人工透析患者

福岡県腎臓病患者連絡協議会

直鞍ブロック腎友会



月に4〜6時間、例えば大災害が起ころうとも終生に渡り続けて行かなければなりません。

ほぼ1日おきに透析を行いながら、健康に関する学習会、国や市町村への陳情・署名、予防のための啓発・腎臓移植の推進、相談活動、レクリエーションなど腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図るために活動しています。

会員から「近年、原因の45%が糖尿病からの合併症です。特定健診を受けて早期発見・治療で人工透析にならないように気をつけてください」「国民健康保険証の裏面、臓器提供意思表示欄に記入をお願いします」とお話を伺いました。会のウェブサイトもあります。「福腎協」でご検索ください。
(藤田)

人工透析患者は全国で30万人、年間1万人ずつ増加している中、直鞍地域の4つの病院で、人工透析を受けている患者の会です。病気や事故などで人工透析にいたると、週3回、1

情報場の広場

障害者問題を考える
講演会開催

【テーマ】

ストレスとうつ病
↳ストレス社会を乗り切る方法

【講師】

福岡県立大学 看護学部
基盤看護学系 講師
北川 明氏

【日時】

平成25年3月9日(土)
10時〜12時

【場所】

直方市総合福祉センター 集会室
(直方市大字山部616-145)

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会
TEL0949(23)2551

障害者相談支援センター
「るーぷる」が一時移転します。

直方市中央公民館駐車場の全面工事のため、障害者相談支援センター「るーぷる」が一時移転します。

【移転期間】

3月12日(火)〜3月31日(日)

【移転先】

直方市総合福祉センター
(直方市大字山部616-145)

【お問い合わせ】

障害者相談支援センター
「るーぷる」
TEL0949(25)7010

ボランティアのつながりを
考えるつどい開催

ボランティア・市民活動は、地域や社会における新たな課題への対応や社会への問題提起を行うなど、先駆的・開発的な役割を果たしてきました。

直方市内には約100のボランティア・市民活動団体が存在し、その活動分野は福祉・医療・文化・国際交流など多様な広がりを見せています。

今回のつどいでは、ボランティアが「つながる」ことにはどのような意味があるのか考えます。

ぜひご参加ください。

【講師】

今村 晃章氏

NPO法人 NPO九州理事

【日時】

平成25年3月20日(水)
13時〜15時30分

【場所】

直方市総合福祉センター 集会室
(直方市大字山部616-145)

【お申し込み・詳細】

同封のチラシをご覧ください。

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会
TEL0949(23)2551

図書室



「幸福な食堂車」

著者 一志 治夫
発行所 プレジデント社
直方市立図書館蔵書

九州にはあまりにもかっこいい電車が多い。民営分割で閉塞状態にあったJR九州を、若きデザイナー水戸岡鋭治氏がどのように開き変革を起こしていくのか。九州新幹線「つばめ」、赤いバス「レッドライナー」、高速船「ビートル」、黒い特急「つばめ」、直方を走る近郊型通勤電車「コミュニティトレイン」、「新博多駅ビル」のデザインと屋上の「つばめの杜ひろば」を、そして「直方駅舎」など50にも及ぶデザインを起こした。これは水戸岡鋭治氏とJR九州の物語である。

この本の中には、直方にある重度の知的障害者支援施設「鷹取学園」の創設者、坂田友三郎氏と水戸岡鋭治氏、そして直方駅舎のドラマチックな関わりを知ることができる。

(広田)



おもちゃ図書館のおがた



おもちゃ図書館のおがたが、発足して6年を迎え、昨年は5周年記念行事も開催しました。願うことは、障害のある子もない子も、おもちゃで遊ぶことで元気になって欲しいということです。

おもちゃはもちろん、児童図書も400冊をそろえ充実してきました。平成筑豊鉄道金田駅や施設への出前図書館も定着し、利用者には歓迎されています。

地域に密着したおもちゃ図書館を目指し、皆さんのお越しをスタッフ一同心よりお待ちしております。(石黒)

お問い合わせ・ご利用案内

TEL

0949(23)2551

場所

直方市総合福祉センター

おもちゃの部屋

直方市大字山部616145

「利用料」無料

開館日

- ◎第2・第4火曜日
- ◎毎週土曜日

午前：10時～12時
午後：13時～15時



あなたも一緒にヘルパーとして働いてみませんか。



- 資格
 - ・ヘルパー2級以上
 - ・普通自動車免許
 - 賃金(時給)
 - ・生活援助
 - (日 中) 1,100円
 - (早朝夜間) 上記2割増し
 - ・身体介護
 - (日 中) 1,550円
 - (早朝夜間) 1,860円
 - ・移動支援(ガイドヘルプ)
 - (身体有り) 1,400円
 - (身体無し) 1,260円
- ※詳細はお問い合わせください。
- 活動時間
 - ・7時～21時
 - ※勤務時間は相談の上

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会
ホームヘルプサービス

香月・毛利

TEL：0949(23)2551
(月～金 8時30分～17時)

「寄付ありがとうございます。」



平成24年11月11日
平成25年2月10日
11件 合計金額

235,000円

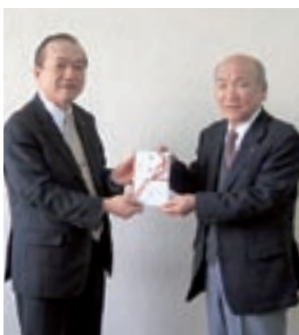
(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)

香典返し寄付金

- 上新入 (故)田代 フミコ
- 植木 上野 聖子
- 頓野 安藤 武美
- 中泉 (故)堀川 弘英
- 植木 島田 廣子
- 古町 栗原 美実
- 植木 (故)田村 トモエ

一般寄付金

- 感田校区社会福祉協議会
- 福岡ひびき信用金庫
- イングスクラブ



皆様からの声をお待ちしています

社協だよりを讀まれた感想やご意見はもちろん、地域の福祉活動に関する情報などがありましたら、本会までご連絡ください。

お問い合わせ

直方市社会福祉協議会

(TEL)

0949(23)2551

(FAX)

0949(23)2552

(e-mail)

nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp

編集後記

真冬の雨の中、ホームレス支援活動に参加させてもらった。神社の屋根の下や木の下で生活をされている方たちに「お変わりないですか」と声をかけ「最近仕事が少ないね」などと会話をしながら、おにぎりを手渡す。社会問題の当事者は個人だけの問題なのだろうか。福祉を特定の人たちだけの課題にするのではなく、困っている人をどう支えるのか、住民も一緒になって協議する場が求められている。

(M)

